

熊高四五会会報

令和7年度
12月号

発行：
熊高45会事務局
info@45kai.com

HomePage:
<https://www.45kai.com>

ご挨拶

熊高四五会会長 木村秀崇

四五会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。この挨拶文を書いている日は十月十二日ですが気温三十四度です。半袖のTシャツを着てエアコンをフル運転して執筆しています。四季が無くなり二季の国になるのでしょうか。

令和五年三月二十九日、熊高卒業五十周年同窓会を開催しました。コロナ禍により三年遅れての記念同窓会でしたが、九十三名の参加を戴き誠に有難うございました。母校において四十九名が中本潔先生の特別授業を受けることから記念同窓会とはスタートしました。



その後、熊本城復興状況見学をした後に熊本市桜町にて同窓会を開催しました。二次会でも多くの方に参加を戴き大変な盛り上がりでした。翌日は、二日酔いながら記念長崎旅行に出発し、十一名が軍艦島など一泊二日の旅を楽しみました。記念同窓会の参加者の半数近くが県外からで、お忙しい中にも遠路より帰熊して戴きましたこと感謝の気持ちでいっぱいです。

令和六年は東海四五会の山内六男さんのお世話で岐阜旅行を八名で楽しんできました。長良川鵜飼、飛騨高山、白川郷などとても印象に残る旅行でした。今年は大阪万博と有馬温泉をセットにして十名で旅行を楽しみました。関西四五会の皆様には、鶴橋の焼肉店でミニ同窓会を開催してもらったり、水陸両用バスの大阪タックツアー、神戸港クルーズへの案内など多大なお世話をして戴きました。この様に旅行先では地区四五会の皆様には大変お世話になりましたことを改めてお礼申し上げます。又、地区四五会の活動として、東京四五会は毎年同窓会を開催し、関西四五会は夏の京都での川床懇親会とオンライン忘年会を毎年開催されています。又、熊高四五女子会（茗花会）を令和六年に立ち上げられ女性だけの懇親会を開催されていると聞いています。皆様方のご活躍とご盛会をお祈り致します。

四五会の同窓会活動は、これからも続けて行きます。皆様から提案されている活動は「歴史探訪」「山登り」「旅行」「文系・理系対抗ソフトボール大会」などがあります。これからの世話人会で話し

が進んで行くと思いますが、その時は皆様のご協力をよろしくお願い致します。又、歳祝いの節目では同窓会を開催し、皆様のご健在を喜び合いたいと思っています。七十七歳の喜寿同窓会は三年後に開催します。老いて参加者も少なくなれば、どこかの温泉地で同窓会もおつなものになるでしょう。四五会の活動は、皆様からの意見の後押しで実施されますので色々な意見を四五会事務局に届けて下さい。異常気象によると思われる災害が頻繁に起こっています。皆様の安全とご健勝をお祈り致しますと共にこれからも四五会のご支援ご協力をよろしくお願い致します。

熊高卒業50周年記念同窓会（令和五年）



熊高正門前に集合した記念同窓会がスタート

中本潔先生の特別授業（熊高教室内）

特別授業をまじめに受けるご老体の生徒達



岐阜旅行 長良川鵜飼見物の屋形船



記念長崎旅行 ミニ出島前にて



大阪万博と有馬温泉旅行



軍艦島クルーズ出発



熊高卒業50周年記念同窓会

<https://www.45kai.com/dousoukai/538.html>

四五会会員の近況報告等

令和七年度東京四五会懇親会

令和七年十月十一日（土）東京四五会を京橋モルチエ（明治屋直営レストラン）で開催しました。三十二名の方々に参加いただきました。東京開催にも拘わらず熊本、宮崎、鹿児島、三重等各地からも参加いただき、また女性も九名参加され賑やかな会になりました。まだ働いている方、引き続き勉学に励んでいる方、趣味に頑張っている方、旅行を楽しんでいる方等、皆さんの夫々の楽しみ方を聞いて元気をもらった次第です。



皆さん年相応に病気もありながら、それ相応に付き合いながら頑張っておられます。仕事や旅行や病気のため、出席したいが叶わなかった方々もありましたが、来年はまた多くの方々の参加を期待しております。

因みに来年は十月三日（土）同じ場所での開催を予定しております。（二室 高和弘 高木憲三）

令和七年度関西四五会懇親会

令和七年八月二五日（月）夕刻、昨年に引き続き「がんこ高瀬川二条苑」にて恒例の関西四五会懇親会を開催しました。今年は関西以外から高宗孝輔さん（熊本）、山内六男さん（岐阜）、村上孝さん（神奈川）の三名を含む十四名の参加でした。京都では記録的な猛暑続きで雨も少なく、川床での懇親会を期待したのですが、その前日での会合を余儀なくされました。



会が始まった後、参加者の近況報告を酒の肴として、例年と同様非常に盛り上がった会となりました。会の終わりにようやく雨が上がり、デザートは川床で味わうことが出来ました。また、二次会にも十二名が参加し、熱気あふれる話が続きしました。

（一室 山室信一 二室 福集和夫 三室 徳光弘介）